

メモリアル施設建設候補地選定説明（坂本区長会） 議事要旨

日 時 令和7年5月26日（月）14時10分～14時30分

場 所 坂本事務所会議棟

出席者 坂本全区長：25名

市：メモリアル施設整備課職員2名

内 容

■説明：市

- ・貴重なお時間をいただきありがとうございます。
- ・5/2に新聞掲載したが、辻原地域をメモリアル施設建設候補地に選定した。

※別添資料を配布して説明。

【追加説明】

- ・坂本や蛭川、阿木地域の人達が恵那斎場を使用し不公平がおきている。
- ・新斎場建設後は付知と中津川の2か所にする予定。
- ・火葬のピークは2040年頃と想定される。
- ・今まで6か所候補地選定したが、決定にいたらなかった。
- ・上平地域、辻原地域とは昨年10月に地域勉強会を開催し、12月に視察会を実施。
上平は多治見市へ。辻原は豊橋市へ。
- ・ガイドウェイ跡地の活用も踏まえ北部地域の活性化を地域の皆さんと考えて行きたい。
- ・農業集落排水施設の跡地も活用する。

A 区長

- ・候補地にはなったが、ここで作ってもいいとは言っていない。
- ・地域は反対者ばかり。賛成は1軒もない。
- ・4/30に市長が説明にきたが、ここで決定とは言わなかった。だから自分も動けない。

回答：区長は中立でいて欲しい。

選定から決定に向けて一步一步前進して行く。

B 区長

- ・上平地域を断念した理由は？
自分としては見晴らしのいい上平がよかった。辻原は低く見晴らしが悪い。

回答：要望書の内容も検討の一つとなった。要望費増大。

C 区長

- ・火葬場はどこかに必要だと思う。しかし自分のところに来るのは困るのが現実。
そんな中、火葬場建設による辻原地域のメリットは？

回答：農振の除外が進み、地域の活性化に繋がる起爆剤にしたい。

中核建設の時でも地域要望があり20年かけて答えた。辻原も同じように要望が出ている。それに答えてもらうことがメリット。しかし、火葬場に対するメリットはない。(A氏)

B 区区長

- ・辻原地域の反対理由はなに？
今は火葬場もいい施設。視察に行けばイメージも変わると思うが。

回答：反対理由は死に対するイメージ。

視察へ行っても火葬場は火葬場。(B氏)